



歓迎の言葉

高松市長

大西 秀人

この度、第77回天皇賜杯・皇后賜杯全日本ソフトテニス選手権大会が、ここ「瀬戸の都・高松」において盛大に開催されますこと、心からお慶び申し上げますとともに、全国各地からお越しいただきました皆様方を、42万高松市民を代表いたしまして、心から歓迎申し上げます。

本市において、ソフトテニス競技は身近で生涯に渡って楽しめるスポーツの1つとして老若男女を問わず人気となっております。私自身も中学、高校時代にソフトテニスに没頭していたため、全国各地からトップクラスの選手が集まり、卓越したプレーを間近で体感できる本大会が、本市において開催されますことを楽しみにしております。

また、本市では、スポーツ施策を総合的・計画的に推進するため「高松市スポーツ推進計画」を策定しておりますが、本大会の開催はソフトテニスの更なる普及・向上はもとより、本市の生涯スポーツを振興する上においても誠に意義深いことと存じております。

参加されます選手の皆様方におかれましては、日ごろの厳しい練習で培われた実力を遺憾なく発揮され、白熱した試合を繰り広げられますよう御期待申し上げますとともに、試合後は、お互いの健闘を称え合い、親睦・交流を深めていただき、本大会が皆様にとりまして、心に残る素晴らしいものとなりますよう心からお祈りいたします。

また、せっかくの機会でございますので、日本三大水城の一つであります高松城跡の「玉藻公園」や、国の特別名勝「栗林公園」、源平の古戦場「屋島」など、本市が誇る景勝地を訪れていただきますとともに、本場の「讃岐うどん」や、四季折々の味覚を楽しめる瀬戸内海の魚介類などを御賞味いただければ幸いに存じます。

終わりに、本大会開催に当たり多大な御尽力をいただきました西日本ソフトテニス連盟を始め、関係各位の御尽力に対し、深く敬意と感謝の意を表しますとともに、本大会の御成功を心から祈念申し上げまして、歓迎の言葉といたします。